

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年10月30日(木)
第22号

◆PTA主催による施設見学◆

PTA主催による施設見学として、9月4日(木)に本校保護者20名と校長先生、進路支援部職員3名で、『デンソー』と『インクル八千代』へ行ってきました。

『デンソー』は、八幡西区本城にあり、1993年に日本電装㈱の九州におけるカーエアコンの製造拠点としてスタートしました。2006年の分社以降には、工場を拡張しディーゼル燃料噴射機器部品など様々な自動車部品を製造しています。主な業務内容は、熱機器製品の生産、ディーゼル燃料噴射機器部品の生産、ガソリンエンジン吸気系製品の生産、自動車用ワイパー、ウォッシャーシステムの生産です。経営方針として「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」と考え、世界中の人々から信頼され、期待される企業であり続ける会社づくりに努めているようです。



『インクル八千代』は、就労継続支援B型と生活介護事業の事業形態を持つ障害福祉サービス事業所です。就労継続支援B型事業では、自分のペースで働きたい人に、それぞれの希望する働き方に沿った仕事を提供しています。

また、『ショートステイやちよ』は、育成会西部会館(八幡西区南八千代町)にて、単独型短期入所事業を運営しており、短期間の入所が必要な方たちに対し、それぞれの利用目的に応じた支援をしています。定員は6名で、施設は

全室個室となっており、落ち着いた生活スペースで、家庭的な時間を過ごすことができます。

今回の施設見学を通して、仕事現場や生活の場としての居室などを実際に見て、保護者にとって、生徒たちの卒業後の具体的な生活イメージを持つことができました。自立へ向けて、早い時期から計画的に利用を進め、少しでも『生きる力』を付けることができるといいですね。

◆校外実習 保護者説明会(1年生保護者)◆

9月19日(金)に1年生保護者を対象とする校外実習保護者説明会を実施しました。進路指導主事からは、以下の話がありました。

定期実習の目標

- ・体験を通して、職場での決まりや社会人としての心構えを学ぶ。
- ・自分の能力や適性を知り、継続して働く力を高める。
- ・将来の働く生活を見通して、自ら挑戦する意欲を伸ばす。



進路指導主事から実習中の緊急時の対応として

- ・怪我や体調不良などで働き続けることができない場合、担任や進路担当が現地に参ります。
- ・学校より保護者に連絡を入れますので、実習先に迎えに来ていただき、生徒と一緒にそのまま病院へ通院していただくか、帰宅していただきます。
- ・保護者が実習先に迎えに行くことができない場合、本校職員がタクシーを使用して、病院又は自宅へ送ります。その際の費用は、ご家庭でのお支払いとなります。ご了承ください。
- ・必ず保護者に直接引継ぎをさせていただきますので、重ねてお願いいたします。

多数のご参加、どうもありがとうございました。

◆就労選択支援事業(新たに創設される障害福祉サービス事業)◆

『障害者本人が就労先、働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性などにあった選択を支援することができる』ように、就労選択支援が創設されます。(令和7年10月1日施行)

対象者

- 就労移行支援又は就労継続支援A型、B型の障害福祉サービス事業を利用希望する者
- 就労継続支援B型を利用希望する者は、令和7年10月以降の利用申請前に、原則として就労選択支援を利用する。
- 就労継続支援A型及び就労移行支援を利用希望する者は、支援体制の整備状況を踏まえつつ、令和9年4月以降、原則として就労選択支援を利用する。

基本的なプロセス

- 短期間の生産活動等を通じて、就労に関する適性、知識及び能力の評価並びに就労に関する意向などの整理(アセスメント)を実施する。
- アセスメント結果の作成に当たり、利用者及び関係機関の担当者などが集まり、連携会議を開き、利用者の就労に関する意向確認を行うとともに、担当者などに意見を求める。

- アセスメント結果を踏まえ、必要に応じて公共職業安定所などとの連絡調整を実施する。

特別支援学校における取り扱い

より効果的な就労選択に資するアセスメントを実施するため、特別支援学校高等部3年生以外の学年で実施できること、また、在学中に複数回実施することを可能とする。加えて、職場実習(産業現場等における実習)のタイミングでの就労選択支援も実施可能とする。